

市営

富寿栄住宅 建替研究会

ニュースレター (第1号)

平成 25 年より、市営富寿栄住宅の建替えを契機に、周辺地域も含めた住みよいまちづくりに向けて検討をすすめてきた「高槻市営富寿栄住宅建替研究会」、去る1/21(月)に今年度の第1回会議を開きましたので、皆さまにご報告します！

第1回 平成31年1月21日(月) 18~19時 @富田ふれあい文化センター
参加者 会員5名+コンサルタント2名・高槻市5名

本年度の取り組みテーマを決めました！

現在検討している富寿栄住宅建替事業で創出される公園と集会所について、入居者や地域住民にとって、どんな場所なら使いやすいか、その理由はなぜか、議論していきながら「集会所・公園のコンセプトづくり」を行います！



第2回に先がけて、公園・集会所について意見交換を行いました！

【公園】

- ・中木(胸上~3m)は避けるべき
⇒視認性が下がり防犯上問題がある
- ・雑草が生えない公園
⇒管理の手間がかからない方がよい

【集会所】

- ・有事の際に、仕切れる間取り
⇒災害時の避難スペースとして活用できれば
- ・2階建ては避けるべき
⇒今ある集会所も2階の利用は少ない

→第2回で本格的に意見交換を行います！とりまとめた内容は、「公園・集会所の構想案」として、富寿栄住宅建替事業に反映します！

富寿栄住宅建替事業の進捗や今後の方針について住宅課より説明がありました。
⇒ 詳細は裏面をご覧ください。

本研究会の経過を地域の皆さまにご報告するため、このニュースレターを発行しています。

編集：(株)市浦ハウジング&プランニング(小倉、山崎)※

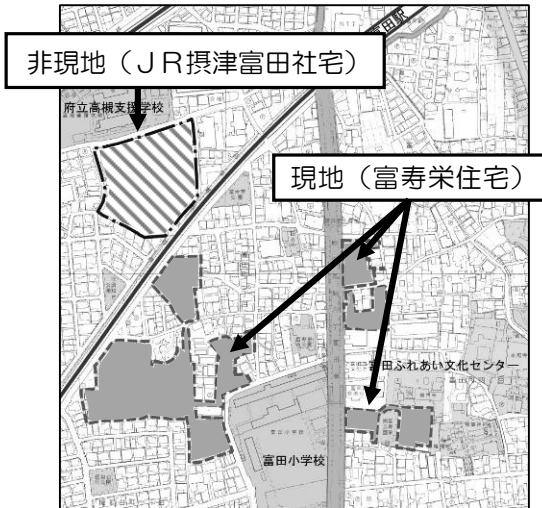
電話 06-6361-8480 FAX 06-6361-8788 メール keikaku-osaka@ichiura.co.jp

※高槻市の委託を受け、本研究会のお手伝いをしています

■ 報 告 内 容 ■

■ 5月までの建替事業の検討状況

— 建替候補地の検討 —



非現地建替えのメリット

○仮移転が不要

⇔現地では約100世帯の仮移転が必要

○工期が1期に短縮可能

⇔現地では建替工程が3期にわたる長期事業

など、入居者の負担が少なく、早期に建替えできる。



非現地での建替えを進める

■ 「大阪府北部を震源とする地震」に伴う対応経過と建替方針の再検討

6月18日 「大阪府北部を震源とする地震」発生

12・13棟の柱の一部が損傷

12・13棟の入居者に避難要請

12・13棟の解体を決定

12・13棟の入居者を他の棟に移転

12・13棟の解体により、現地建替えの環境が変化

現地での建替計画の再検討

— 再 検 討 結 果 —

12・13棟の跡地を活用できることから

○仮移転が不要

○建替工程が2期に短縮

現地建替えでの主要課題が解消



総合的に判断し、
「現地建替え」を選定

■ 事業手順

※モデル検討した仮の計画です。実際の設計ではありません。



■ 今後の予定

「PPP/PFI 手法導入における優先的検討に係る指針」に基づき、事業手法を検討

平成31年3月に建替基本計画を策定完了

上記内容に関するお問い合わせは高槻市住宅課まで（674-7525）